

## 「アジア循環型都市宣言制度」が21都市で本格始動しました

バンコク都を訪問した山中竹春 横浜市長が、アジア循環型宣言創設都市発表、ハイレベル国際会議登壇、国連機関会談を通して、アジア太平洋地域における循環型都市移行に向けた具体取組の立上げを発表

山中 竹春 横浜市長が3月25日にバンコクを訪問し、横浜市の先導により創設された、アジアの循環型都市移行を推進する国際枠組み「アジア循環型都市宣言制度」の創設都市をイクレイ日本・バンコク都と共同発表しました。7か国、21都市(人口規模5300万人超)が創設都市となり、同宣言制度が本格始動しました。

このほか、山中市長はバンコク訪問中に、持続可能性に関するハイレベル国際会議「Sustainability Week Asia」への登壇、「国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)」事務局次長との会談等を通じて、アジアにおける循環型都市移行への具体取組の立上げを発表しました。

### (1) アジア循環型都市宣言(ACCD)<sup>\*1</sup>創設都市の発表

イクレイ<sup>\*2</sup>日本・バンコク都と「ACCD創設都市」を共同発表し、横浜市・バンコク都を含む、創設都市21都市<sup>\*3</sup>により、ACCDが本格始動しました。

また、山中市長は、イクレイ日本と協力し、2026年9月2日～4日に横浜で開催する「アジア太平洋循環型都市フォーラム(APCC-Forum)」を、ACCD宣言都市が一堂に会し知見を共有する機会としていくことを共同で発表しました。

さらに、山中市長は、ACCDの立上げを呼びかけた発起都市として、次の共同イニシアティブを提案し、イクレイ日本の賛同を得ました。

- ① アジアならではの循環型都市移行を進めていくための行動計画「ACCDアクションプラン」を策定していくこと
- ② ACCD宣言都市がそれぞれの現場で磨いた実践事例を共有し、互いの政策力を高める仕組みとして「アジア循環型都市アクション50(仮称)」を取りまとめていくこと
- ③ アジアの都市の声を世界に届け、多様なアクターとの連携を生み出すため、国や国際機関への「政策提言」を策定していくこと



ACCD 創設都市発表



山中市長の講演



覚書の更新

裏面あり



GREEN × EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



**創設都市の人口規模は、5300万人超**となります。創設都市や今後の新たなACCD宣言都市の共同行動によって、大きな国際的インパクトを生み出すことが期待されます。

また、ACCD創設都市発表に併せ、山中市長とチャットヤート・バンコク都知事が、アジアにおける循環型都市移行に向けた両都市の協力強化に合意し、両都市の都市間連携の覚書を更新しました。

## (2) ハイレベル国際会議「Sustainability Week Asia」登壇

国際メディアのエコノミスト・グループが主催し、アジア太平洋地域の企業リーダー・政府関係者・国際機関等が参加するハイレベル国際会議「Sustainability Week Asia 2026」に、山中市長がアジア太平洋地域の自治体首長として初めて登壇しました。グリーン成長をテーマとしたメインパネルディスカッションに参加した市長は、

**都市が、多様なステークホルダーを横断的に巻き込みながら、地域全体・面全体で環境インパクトを出す役割を果たす重要性を強調し、みなとみらい地区で資源の見える化に取り組み、「廃棄・消費」から「循環と価値」を生む中心地に大転換する取り組みを紹介しました。**

会議に参加した国際機関や企業の代表から、アジアをけん引する本市のリーダーシップに高い関心が示されました。



パネルディスカッションの様子

## (3) 国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)との連携強化

2027年に横浜で開催する第9回アジア太平洋都市フォーラム(APUF-9)に向け、山中市長が、共同主催機関である「国連ESCAP」※4のジョンビ・シャープ事務局次長と会談を行い、若者の意見を踏まえ策定した、**APUF-9公式ロゴを共同発表**しました。

会談では、市長から、APUF-9を契機に横浜市が「**APUF Voices of the Future**」(若者1万人が未来の都市を考え、横浜から世界へ声を届けるための交流や学習機会等の創出)を**新たに実施することを発表し、事務局次長から「素晴らしいイニシアティブであり、ぜひ協力して進めていきましょう」と賛同**が示されました。

また、横浜市がESCAPの協力の下でとりまとめたSDGs進捗報告書「**自発的自治体レビュー(VLR)**」の公表について報告するとともに、今後の連携強化を確認しました。



APUF-9公式ロゴ



ESCAP事務局次長とのロゴ発表



VLRの手交

次頁あり



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



#### (4) 国連開発計画(UNDP)との連携強化

山中市長は、アジア太平洋地域における持続可能な開発を推進する UNDP バンコク地域ハブ所長のペアーテ・トランクマン氏と会談し、2027 年の APUF-9 について、環境や都市のガバナンス、次世代育成の分野での連携強化、また、アジア循環型都市宣言制度の発展に向けた協力を相互に確認しました。



UNDP バンコク地域ハブ所長との会談

#### (5) 気候変動に関する政府間パネル(IPCC)との連携強化

山中市長は、気候変動に関する最新の科学的知見を評価・分析する国際機関である IPCC のウィンストン・チョウ ワーキンググループ2 共同議長と会談しました。IPCC は、バンコクで第 64 回 IPCC 総会を開催中で、チョウ共同議長からは、現在作業が進められている「都市と気候変動に関する特別報告書」について、横浜の知見共有・協力を高い期待が示されました。



IPCC ワーキンググループ2 共同議長との会談

## 2 期間及び行程

2026年3月24日(火)～3月26日(木)

日程	内容
3月24日(火)	・日本発(夜)
3月25日(水)	・バンコク着 ・持続可能性に関する国際会議「Sustainability Week Asia」登壇 ・バンコク都知事との会談 ・横浜・バンコク都市間連携覚書署名 ・アジア循環型都市宣言(ACCD)創設都市発表式開催・登壇 ・国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)事務局次長との会談 ・気候変動に関する政府間パネル(IPCC)ワーキンググループ2共同議長との会談 ・国連開発計画(UNDP)バンコク地域ハブ所長との会談 ・バンコク発
3月26日(木)	・日本着(朝)

裏面あり



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



### (※1)アジア循環型都市宣言制度(Asian Circular Cities Declaration (ACCD))

アジア地域における循環型都市の推進を後押しする国際的な制度として、横浜市が発起都市となり、アジア都市のリーダーと共に設立を要望した結果、昨年11月横浜市主催の国際会議「アジア・スマートシティ会議2025」の中で、イクレイ日本によって創設されました。発起都市である横浜市は同会議の中で署名し、第一号署名都市となりました。

### (※2)イクレイ(持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会)

世界2,500以上の自治体による都市ネットワークとして、国連に対して自治体を代表した発言を行うなど、持続可能な都市と地域の実現を目指しています。イクレイ日本は、イクレイの日本事務所として、国内自治体とイクレイの国際ネットワークをつなぐ役割を担っています。

### (※3)アジア循環型都市宣言 創設都市

#### (日本)

- ・さいたま市
- ・東京都
- ・横浜市

#### (韓国)

- ・高陽市
- ・ソウル市蘆原区
- ・忠清南道
- ・坡州市

#### (インドネシア)

- ・ジャカルタ首都特別市
- ・バリクパパン市
- ・ボゴール市
- ・マカッサル市

#### (タイ)

- ・バンコク都

#### (フィリピン)

- ・北スリガオ州デル・カルメン市

- ・ケソン市

- ・セブ市

- ・バギオ市

- ・マカティ市

- ・モンテナルパ市

- ・ポロンガン市

#### (ベトナム)

- ・ダナン市

#### (マレーシア)

- ・セベランプライ市

### (※4)国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)

国連の経済社会理事会が設置する5つの地域委員会の一つで、アジア太平洋地域の経済発展や社会開発に関する調査研究や勧告等を任務とする、バンコクに本部を置く組織です。横浜市は、ESCAPと共同で、2027年8月31日から9月3日に、第9回アジア太平洋都市フォーラム(APUF-9)を横浜で開催します。APUFは、持続可能な都市開発分野におけるハイレベル・プラットフォームで、国、都市、国際機関、民間セクターのリーダーらが一堂に会する、アジア太平洋地域最大級のマルチステークホルダー会合です。4年ごとの開催で、今回が日本初開催となります。

#### お問合せ先

(市長のタイ王国での行程全般に関すること)

国際局グローバルネットワーク推進課担当課長

谷澤 寿和 Tel 045-671-4889

(Sustainability Week Asia に関すること)

国際局グローバルネットワーク推進課グローバル都市戦略推進担当課長

伊藤 恵美 Tel 045-671-4709

(ESCAP、UNDP との連携に関すること)

国際局グローバルネットワーク推進課国際技術協力担当課長

横内 宣明 Tel 045-671-4712



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷





参考:イクレイ日本プレスリリース

2026年3月26日  
一般社団法人 イクレイ日本  
理事長 竹本 和彦

## 「アジア循環型都市宣言制度」創設都市発表式を開催しました

21都市(人口規模約5,327万人)が署名！

イクレイ日本は、バンコク都と横浜市の協力のもと、3月25日にバンコクにてアジアの循環型都市移行を推進する国際枠組み「アジア循環型都市宣言制度」(以下「ACCD」)の創設都市発表式を開催しました。

同式典では、バンコク都及びジャカルタ首都特別州がACCDへ参加することが表明されるとともに、創設都市21都市(人口規模約5,327万人)を発表しました。

イクレイ日本の竹本理事長は、これまで署名頂いた都市をACCDの「創設都市」として位置付け、本日をもって、これまで注力してきた基盤づくりから、「創設都市」との連携の下、新たに「行動の段階」に移行していくことを表明しました。

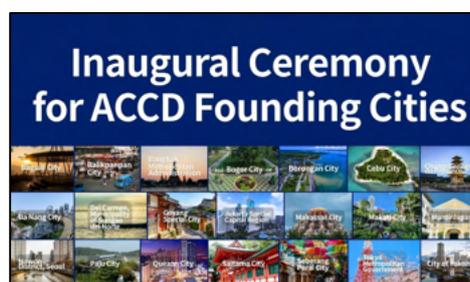
さらにイクレイ日本の竹本理事長及び横浜市の山中市長は、2026年9月2日から4日に横浜で開催する「アジア太平洋循環型都市フォーラム(APCC-Forum)」において、ACCDの活動に一層の弾みをつけていくハイレベルの会議体の発足を目指すこと、並びに同フォーラムを共同開催することを確認しました。

また、山中市長より次の共同イニシアティブの提案を受け、イクレイ日本もこの提案に賛同しました。

### 横浜市の提案内容

- ①アジアらしい循環型都市への移行を進めていくための「ACCDアクションプラン」を策定していくこと
- ②ACCD都市がそれぞれの現場で磨いた実践を結び合わせ、互いの政策力を高める仕組みとして「アジア循環型都市アクション50(仮称)」を取りまとめていくこと
- ③アジア都市の声を世界に届け、多様なアクターとの連携を生み出すための、国や国際機関への「政策提言」を策定していくこと

イクレイ日本は、今後創設都市とともに循環型都市の実現に向けて活動してまいります。



アジア循環型都市宣言 創設都市(ACCD で中核的な役割を担う都市)

- ・北スリガオ州デル・カルメン市
- ・バギオ市
- ・ケソン市
- ・坡州市
- ・高陽市
- ・バリクパパン市
- ・さいたま市
- ・バンコク都
- ・ジャカルタ首都特別州
- ・ボゴール市
- ・セブ市
- ・ボロンガン市
- ・セベランプライ市
- ・マカッサル市
- ・ソウル市蘆原区
- ・マカティ市
- ・ダナン市
- ・モンテンルパ市
- ・忠清南道
- ・横浜市
- ・東京都

<アジア循環型都市宣言制度 (ACCD) >

昨年 11 月横浜市主催の国際会議「アジア・スマートシティ会議 2025」の中で、横浜市が発起都市となり、アジア都市のリーダーと共に要望されたことを受け、イクレイ日本によって創設したアジア地域における循環型都市の推進を後押しする国際的な制度。

<アジア太平洋循環型都市フォーラム (APCC-Forum) >

横浜市主催の国際会議「アジア・スマートシティ会議」から改称。

都市、国際機関、政府機関、学術機関、民間企業から代表者が集まり、環境と経済のバランスをとった持続可能な都市開発について議論が行われている。

お問合せ先

一般社団法人イクレイ日本 事務局長 内田 東吾

Tel 03-6205-8415 Mail [iclei-japan@iclei.org](mailto:iclei-japan@iclei.org)